

# 飯田再興物語 ~人とまちを繋ぐりんごの輪~



## 〈再興の取り組み〉

### 〈新たな人の流れ〉

**ヨソモノ**  
リニアが開業しても駅まで行く足がないと不便だよな。

**ワカモノ**  
そもそも普段から飯田駅って使わないんだよな。

**バカモノ**  
この機会に飯田駅を中心に交通網を整備しよう!

### 平面移動と乗り継ぎ経路短縮化にこだわった駅前再編

#### シームレスな交通接続

<大都市圏～飯田>

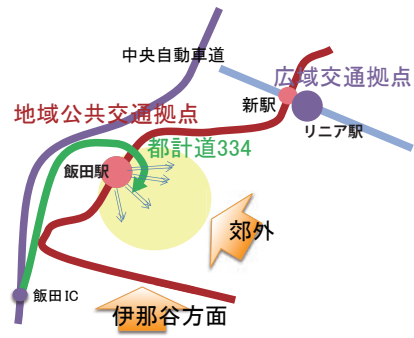
従来の中央自動車道からのアクセスに加え、リニア開業により、大都市圏からのアクセスが飛躍的に向上する。また、都市計画道路（334号羽場大瀬木線）整備に伴い、飯田ICから飯田駅へのアクセスは、駅東側から制限し、中心市街地への通過交通流入を抑制する。

<リニア駅～飯田駅>

公共交通整備により、リニア駅と飯田駅間のアクセスを確保する。

<飯田駅～中心市街地>

人が気持ちよく歩ける遊歩道や路線バス（コミュニティバス）、レンタサイクルシステムを整備する。交通ターミナルやレンタサイクル等を駅前に集約し、乗り継ぎの利便性を図る。



### 〈市民サービス提供〉

### 多世代が集い交流する場の創出

**ヨソモノ**  
相変わらず駅前は寂れてるなあ。これじゃ人も来ないよ。

**ワカモノ**  
休日か退屈なんだよな。都会の友達が羨ましい。

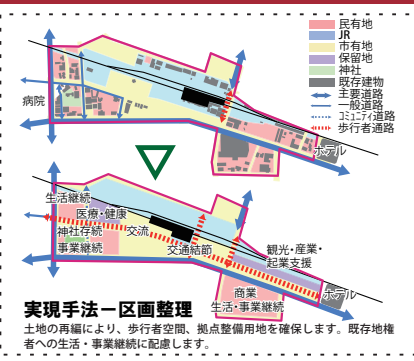
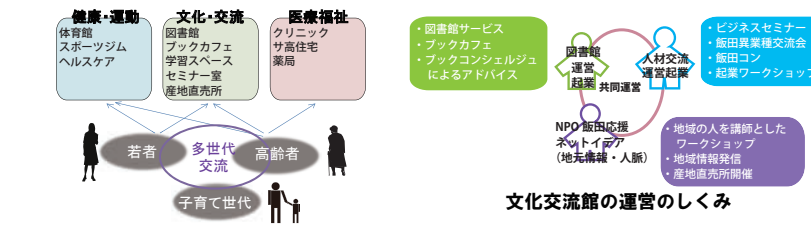
**バカモノ**  
市民の生活の中心になるような施設を整備しよう!

#### 市民活動の拠点づくり

市民が積極的に活動し、安心して生活するための拠点施設を駅前に集積させ、賑わいを創出するとともに、市民の交流を生み出す。

#### 民間企業の共同による運営

施設の運営は、専門企業と地元企業に委託し、質の高い、地域に密着したサービスを提供する。



### 〈産業・観光振興〉

### 人材育成・地域活性化のしくみづくり

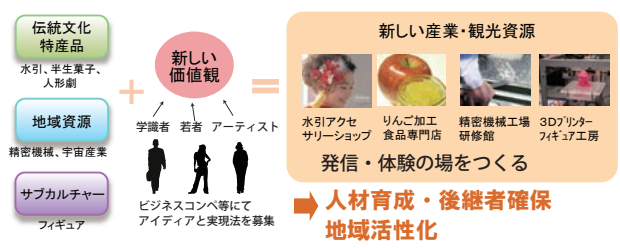
**ヨソモノ**  
飯田ってよく見れば特産品があるけど見とえがないなあ。

**ワカモノ**  
同級生も大学進学で都会に出て行ったきり帰ってこないんだよ。

**バカモノ**  
もっと若者が地元産業を引っ張る仕組みをつくろう!

#### 地域資源の再発掘

埋もれている資源を新たな視点で掘り起し、産業・観光へとつなげる。



#### 起業支援のトータルサポート

事業を始めたい人の出店・事業拡大をサポートする拠点をつくり、人材・産業を生み、育む。



信州、伊那平の南部にある飯田はアルプスの山々や天竜川の自然に恵まれ、果樹や精密機械などの産出だけでなく、人形劇などの固有の文化を育んできた豊かなまちです。しかし、人口減少と高齢化により、地域の活力は徐々に失われて危機感が顕著になってきました。2027年にはリニア駅ができて交通利便性が高まることから、活性化の期待も高まっていますが、一方で、かえって衰退に拍車がかかるのではないかとこの危機感も生まれています。

地域で様々な議論が起こる中で、自分たちが主体的に自分たちのためのまちづくりを進めることが大切だと考えて、行動を始めるメンバーができました。彼らは、地域に眠っている物的、人的な資源を外部の人の力も借りて有効に活用していこうと考えました。また、身の丈に合った規模でまちづくりを行うことやリニアの開業時期を見据えた戦略をつくりました。

彼らの行動は、当初は周囲から半信半疑で見られていましたが、徐々に成果が現れてくると、賛同者も増えてきて、中心市街地を拠点に活動が広がっていきました。そして、リニア開業後は、飯田の魅力に気がついた外部との交流や移り住む人も増えて、都会とは異なる豊かな暮らしを体現しました。

### 再興に奔走する三人衆

- 〈ヨソモノ〉** 東京出身の40代。地方の活性化を仕事として取り組んでいたところ、飯田の土地と人の魅力に惹かれて、専門的なアドバイスだけでは飽き足らなくなり、自らプロジェクトを立ち上げてしまう。
- 〈ワカモノ〉** 追手町小学校出身の20代。都会へのおこがれもあったが、代々続く菓子店を継ごうと決心した頃から地元への愛着も高まってきて、旧友のネットワークも駆使して奔走する。
- 〈バカモノ〉** 50代の工場経営者。地域全体で取り組まないと飯田の産業が続かないという危機感を感じ、持ち前の行動力と統率力でまちづくりのリーダー的存在に、自称「バカモノ」だが周囲からは尊敬されている。

### 飯田の魅力に目覚めた人達

- 感度の高い来街者〈タズネヒト〉**
  - 文化観光資源への来客
  - 地場産業の視察
  - アウトドア活動の中継
- 中心市街地で育つ新たな人材〈ソダチヒト〉**
  - 健康増進環境
  - 文化レクリエーション環境
  - 居住環境
- 暮らしやすさを実感した地域住民〈スミヒト〉**
  - 健康増進環境
  - 文化レクリエーション環境
  - 居住環境

### 〈都市骨格づくり〉

### 町割りを発展させた「つなぐ」「回遊する」都市骨格づくり

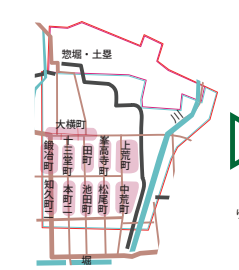
**ヨソモノ**  
りんご並木がまちのシンボルって聞いたんだけど、どこにあるの?

**ワカモノ**  
駅前からは見えないし、地域の人しか知らないかもね。

**バカモノ**  
りんごをテーマにした歩いてわくわくする回遊動線をつくろう!

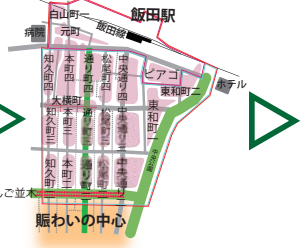
#### 江戸時代

通りを中心とした町割り（両側町）が城下形成。



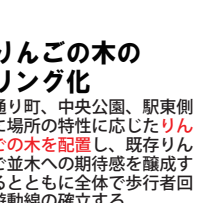
#### 現状

大火の後、防火帯がまちの骨格となっている。町割りは継承され、「町会」として機能。



#### 駅と中心地を結ぶ新しい都市軸

通り町を「環境シンボルロード」として歩行者優先の道路に修景し、駅からりんご並木へのメイン動線とする。

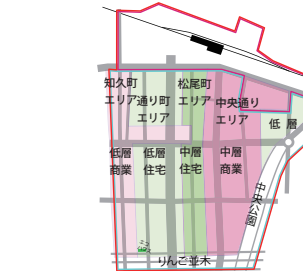


### 〈まちなか更新〉

### 活力があり、歩いて楽しいまちづくりを住民主導で実践

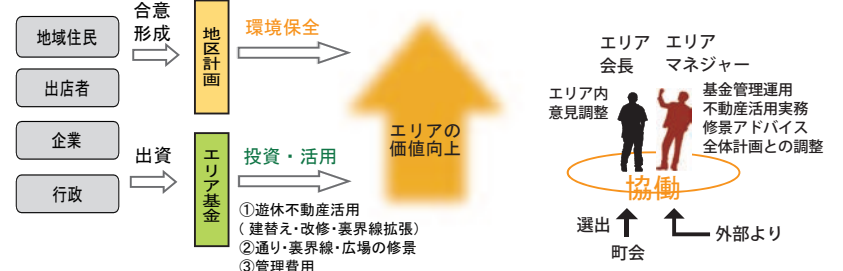
#### 通り単位のまちなか更新

江戸時代より引き継がれたコミュニティを活かしながら、通りごとに「エリア」を設定。通りごとに特徴あるまちなか更新を行う。



#### 自立したまちなか更新のしくみ

エリア会長と外部からの実務者が協働し、まちづくりのルール化、自己投資を行うことで、エリア間で競争意識を持つ、自立したまちづくりを行う。



## 〈再興ストーリー〉

	初期期 (概ね2015～2019年までの5年間)	施策展開期 (概ね2020年～2027年、リニア開通までの8年間)	施策継続期 (2027年、リニア開通以降)
事業	まちづくりの課題や目標を共有して活性化のきっかけをつくる	活性化が軌道にのり、各プロジェクトの具体的な計画が進む	リニア開業の影響を検証して計画の軌道修正を図る
計画	短期的な取り組みの成果を得ることにより取組みを軌道に乗せる	リニア開通のインパクトを受け止められるだけの仕組みづくり、ハード整備が整う	リニア開業による交流人口の増加が成果として現れる
人材	人材育成していく仕組みを整えて流出を食い止める	人材育成の効果が目覚めて街に活気が生まれてくる	育成した人材がリニア開業により外部との交流が進展する